

成田国際空港文化コンサート

館野 泉 アフタヌーン・コンサート

共演：平原あゆみ

左手のピアニストが
奏でる
音の翼

日時／2009年

3月14日(土)

場所／芝山町芝山文化センター

入場料:無料 開場 13:30
開演 14:00

主催▶成田国際空港文化コンサート実行委員会

協賛▶成田国際空港株式会社

協力▶芝山町、成田市、富里市、香取市、山武市、栄町、神崎町、多古町
横芝光町、芝山町・成田空港共栄推進委員会、成田空港対策協議会
芝山町「空港と暮らし」推進協議会、成田空港騒音対策地域連絡協議会
多古町航空機騒音等対策協議会、芝山町振興公社
株式会社日本航空インターナショナル

ーご注意とお願いー

- 会場内におけるご飲食、ご喫煙はご遠慮ください。また、写真撮影、録画、録音等は一切禁止とさせていただきます。
- 席数に限りがございます。満席の場合には入場をお断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。
- 開演後のご入場は、制限させていただく場合もございます。
- 未就学児のご入場は、ご遠慮願います。
- 都合により曲目の変更などがある場合もございますので、予めご了承ください。

問い合わせ先

成田国際空港文化コンサート実行委員会事務局
成田国際空港株式会社 地域共生部 TEL0476-34-5385



© 館野泉



プログラム

- 1 村木眞寿美講演(「左手のピアニスト」著者)
- 2 ピアノコンサート(第1部)
 - (1) バッハ／ブームス編曲：シャコンヌ 二短調 BWV1004 より
 - (2) 吉松 隆：タピオラ幻景 Op.92 (館野泉に捧げる)
 - 1) 光のヴィネット 2) 森のジグ 3) 水のパヴァーヌ 4) 鳥たちのコンマ
 - 5) 風のトッカータ
- 3 館野泉、村木眞寿美トークショー
- 4 ピアノコンサート(第2部)
 - (1) セヴラック／末吉保雄 編曲：「休暇の日々から」第1集より(三手連弾共演：平原あゆみ)
 - 1) シューマンへの祈り 2) お祖母様が撫でてくれる 3) ミミは侯爵婦人の扮装をする
 - 4) ロマンティックなワルツ
 - (2) coba：記憶樹 (館野泉に捧げる／「館野泉 左手の文庫助成作品」)
 - 1) 深遠な予感 2) 果敢な叫びを上げよ 3) 嘆きと自負 4) 宿命 5) 回廊
 - 6) バルカロール 7) 信頼 8) 果敢な叫びを上げよ BIS 9) カオス
 - 10) 根源的な回想

プロフィール

館野 泉 Izumi Tateno (Piano)

1936年東京生まれ。60年東京芸術大学を首席で卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年メシアン・コンクール第2位。同年よりフィンランド国立音楽院シベリウス・アカデミーの教授をつとめる。81年より、フィンランド政府の終身芸術家給付を受け、90年以降は演奏生活に専念している。96年日本と諸外国との友好親善への貢献に対し、外務大臣表彰受賞。06年シベリウスの音楽の普及に貢献したとして、フィンランドシベリウス協会より「シベリウス・メダル」を授与される。これまでに、日本と北欧5カ国をはじめ、世界各国で3000回以上のコンサートをおこない、その温かく、人間味あふれる演奏によって、あらゆる地域の聴衆に深い感動を与えている。リリースされたCDは100枚にのぼり、いずれのアルバムも世界中の幅広い層の聴衆の熱い支持をえている。純度の高い、透明な抒情を紡ぎだす、この孤高の鍵盤詩人は、01年に演奏生活40周年記念リサイタルを全国で行った翌年、脳溢血で倒れ右半身不随となる。2年半に及ぶ苦闘の日々を不屈の精神でのりきって、04年5月左手による演奏会で復帰をはたす。命の水脈をたどるようにして取り組んだ左手による作品は、静かに燃える愛情に裏打ちされ、聴く人の心に忘れがたい刻印を残す。その左手のために、間宮芳生、ノルドグレン、林光、末吉保雄、吉松隆、谷川賢作等第一線で活躍する作曲家より作品が献呈される。演奏活動再開の様子を密着取材したドキュメンタリー番組 NHK ハイビジョン特集「左手のピアニスト～館野泉ふたたびつかんだ音楽～」は、04年度 NHK 衛星放送局局長賞受賞、TBS 制作左手の作品を探るドキュメンタリー番組「奇跡のピアニスト」は、06年度年間テレビベスト作品に選ばれるなど、左手の新たな音楽世界を切り開いた。06年、全て委嘱作品によるリサイタルをサントリーホールにて行う。07年、オール吉松隆作品による全国ツアーを行う。同時にCD「アイノラ抒情曲集～吉松隆の風景」をリリース。同年秋、日本初、左手のためのピアノ協奏曲「吉松隆：ケフェウス・ノート」を、ドレスデン歌劇場管弦楽団と初演し、大きな反響を巻き起こした。08年、coba、末吉保雄への委嘱作(『左手の文庫』助成)によるソロ・リサイタルを各地にて行う。同年秋、長年の音楽活動の顕著な功績に対し旭日小綬章受章、および、文化庁長官表彰受賞。左手の作品の充実を図るため、「館野泉 左手の文庫(募金)」を06年に設立。エッセイ集に「ひまわりの海」(求龍堂刊)、「左手のコンチェルト」(佼成出版社刊)などがある。左手によるCDは、エイベックス・クラシックスから6枚リリースされている。南相馬市民文化会館(福島県)館長。日本シベリウス協会会長、日本セヴラック協会顧問。日本の、クラシックのアーティストとしては初めての、そして最も長続きしている「ファンクラブ」を各地に持つ。

館野泉公式ホームページ <http://www.izumi-tateno.com>